



2017年9月のロータリーレートは1ドル=109円 創立20周年記念祝典 2018年4月21日(土)



Ian Riseley

2017-18年度 RI 会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」
「ROTARY : MAKING A DIFFERENCE」
イアンH. S. ライズリー
Sandringhamロータリークラブ所属
オーストラリア（ビクトリア州）



下口幸雄

2017-18年度2610地区ガバナー
クラブのカラーを出そう

点 鐘

1. 国 歌 『 君が代 』
1. ロータリーソング
『 それでこそロータリー 』
3. 四つのテスト
4. 上杉輝子会長挨拶

あらためまして明けましておめでとうございます。いよいよ百万石RC20周年を迎える



例会便り

第 901 回

2018.1. 18 (木) 18 : 30

例会出席率 25/47 53.19 %

ホテル日航金沢 5 階

表靖子 SAA



年となりました。ちょっと数えてみましたら、今日を入れないであと99日となりました。この記念の年に何をやって何を残せばいいかと私なりに考えまして、ロータリーというのは当然奉仕の団体です。私が入会してから約11年になりますが、これまでは国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕などを行ってきました。この年には地域に奉仕をさせていただきたい、まず地元をもう一度見直して私達にできることをやりたいと提案させてもらったところ、それはいいということで現在進めているところです。何分至らない事もたくさんあると思いますが、皆さんに協力していただいて成功に終わりたいと思っております。改めてよろしくお願い申し上げます。

5. ゲスト・ビジターのご紹介

(1)ゲスト〔卓話講師〕館長 石川県立看護大学 名誉教授・特任教授

浅見 洋（あさみ ひろし）様

〔米山奨学生〕李 紅艶（リ コウエン）さん

(2)ビジター なし



6. 米山奨学生へ奨学金の支給

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。これからも頑張ります。有難うございます。



7. 今月の誕生者の紹介

7日 石丸 幹夫（いしまる みきお）会員

19日 野村 礼子（のむら れいこ）会員

21日 道端 勝太（みちはた しょうた）会員

31日 谷 伊津子（たに いつこ）会員

《 食 事 》

8. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕 大路孝之幹事

①本日例会終了後、引き続きこの会場で理事役員会を行います。

②来週素囃子練習会を行います。

③ これまで毎月第4週目の例会終了後、2次会を行う予定でございましたが、20周年に向けての素囃子練習会と重なりますので、1月2月は取り止めとさせていただきます。3月以降については近づきましたらご案内したいと思います。

④ 20周年の櫻井よしこ先生の記念講演チケットについてお求めをお願いしたいと思います。例会終了後、私までよろしくお願いたします。



〔委員会報告〕 宮永満祐美 20周年実行委員長：〔委員会報告〕



宮永20周年実行委員長：今日の会報で村田会員のご提案があつて、本当に私達のことを思った素晴らしいご提案だと思います。以前は、朴先生への顕彰についてきちんと調べておりませんでした。その後確認しましたら、10周年の記念行事で金会長の時に朴先生と石丸先生に顕彰を差し上げています。今回の20周年は、先ほど上杉会長がおっしゃった通り、地域を大事にしましょうということで準備しております。そして、石丸先生への感謝状は、長い間会報をずっと続けていただいている事についての感謝状を考えております。石丸先生、どうもいつも有難うございます。

表靖子会員：名鉄エムザで花展が行われていましてそこに出席しております。受付に券がございますのでどうぞお持ちくださいませ。

9. ニコニコBOX紹介 ¥15,000- 本年度¥340,000- 残高¥5,273,811-

上杉輝子会長：明けましておめでとうございます。いよいよ20周年の年を迎えました。どうぞ皆様改めて御協力をお願い申し上げます。浅田様本日はようこそいらっしゃいました。宜しくお願申し上げます。

大路孝之幹事：浅見先生お久しぶりです。本日の卓話よろしくお願いたします。

石丸幹夫会員：85才の誕生日です。本当におかげ様でまあ元気で生きております。

東海林也令子会員：新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

北山吉明先生：しばらくお休みしておりました。公私共に時間が不足でバタバタしています。状況は変わりませんが、月一回の出席を目指して時間を作っていきますので宜しくお願いたします。

永原源八郎会員：今晚は浅見洋様卓話楽しみにしております。李さん日本で頑張ってください。

武藤清秀会員：皆さん本年も楽しく過ごしましょう。浅見先生卓話よろしくお願いたします。

匿名様：皆様あけましておめでとうございます。今年皆様のお力を是非おかし下さい。よろしくお願いたします。



10. 卓話

「西田哲学の世界観と人間観」 浅見 洋 様

紹介者：江守道子会員 浅見先生と私の出会いは、先生が主催されていた「高橋ふみに関する勉強会」に私の亡くなった母と参加したことです。10年ぐらい前のことでしょうか。先生の略歴を簡単にご紹介いたします。先生はたくさんの著書がおありで、今日は何種類かお持ちいただきました。ご興味のある方は帰りに購入してください。



昭和二六年石川県能登町（旧柳田）生まれ。

【学歴】

秋田大学教育学部卒業、金沢大大学院文学研究科哲学専攻修了。博士（文学、筑波大学）。

【職歴】

国立石川高専講師、助教授、教授、石川県立看護大学教授・学長補佐を経て、現在 石川県西田幾多郎記念哲学館長、石川県立看護大学名誉教授・特任教授（アカデミックアドバイザー）。

この間、東京大学大学院教育学研究科連携教授、ライプチヒ大学客員教授、鈴木大拙記念館設立懇話会座長等歴任。

【専門分野】

宗教哲学、日本哲学、医療倫理、死生学

【学会役員】

日本宗教学会・西田哲学会・比較思想学会・日本エンドオブライフケア学会・北陸宗教文化学会理事、日本医学哲学倫理学会評議員

【著書】

『西田幾多郎とキリスト教の対話』『未完の女性哲学者 高橋ふみ』『思想のレクイエム』『二人称の死』『鈴木大拙と日本文化』『おふみさんに続け 西田幾多郎の姪 高橋ふみの生涯と思想』ほか多数。

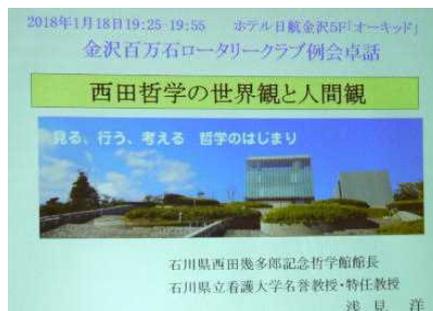
【卓話概略】



西田幾多郎は日本を代表する哲学者、世界的な哲学者、京都学派の創始者など、さまざまに形容されてきた。日本で最初の体系的な哲学書『善の研究』は岩波文庫版だけでもすでに100刷を超えており、諸著作の外国語翻訳、諸外国での研究もますます増加傾向にある。そのように国内外に最もよく知ら

れ、読まれている日本人哲学者でありながらも、西田哲学について基本的理解をもっているものはごく少数にとどまっているように思う。

卓話では多くを話す時間はないので、西田哲学と呼ばれるようになった60歳以降の西田の世界観と人生観の概観について、簡単にお話します。西田哲学ではこの現実の世界「社会的・歴史的世界」として捉え、われわれ個々を「歴史、社会、環境に限定され（作られ）ながら、歴史を創



造する（作る）表現点」（歴史的存在）として捉えている。歴史的な世界と個々人は作り作られる関係である。歴史的な世界は絶えず変化し続ける世界であり、われわれ個々人はそのうちにありながらも、新しい歴史的な世界を作る主体である。私たちの未来と子供たちの将来を見据えながら、現代世界を超える新しい世界を創造する主体であり続けること、それが西田哲学が私たちに提示する世界観と人間観の骨子である。

1 1. 質疑応答

1 2. 謝辞・謝礼

点 鐘

-----会員随筆-----

パストガバナーからの手紙 331回2018. 1. 25 炭谷 亮一

一なり、結局8月まで同誌に連載した。

上記の小説は当時としても又現在でも画期的であり、奇想天外であり、革新的であると断言出来る。

何故漱石はこんな小説が書けたのか考察してみた。

やはり漱石の英文学の大家、英文学の研究者と言う生業がベースにあると考えられる。その為イギリスの18世紀～19世紀の小説を多数読んでいたのであろう。私が出来る範囲で参考文献を紐解いてみると、フランシス・コベントリーと言う作家の「チビ犬ボンペイ物語あるいはある愛玩犬の生活と冒険」と言う作品がある、おそらく漱石は読んでいたのだろう。又ドイツ人作家ホフマンの「牡猫ムルの人生」が「吾輩は猫である」の文中で他者より似ているとの指摘をされたと記述している。どちらも、「猫」を主人公にした物語である。

漱石は上記を知っていたからこそ、「吾輩は猫である」の発想が出来、書けたのだろうと想像出来る。

更には小説家「丸谷オ一」は「『吾輩は猫である』にヒントを与えた小説は、イギリスのスターンと言う作家の『紳士トリストラム・シャンディの生活と意見』だろう」という説を立てている。その理由として漱石はイギリス留学の前、熊本の五高の先生をしていた時にその小説を日本に紹介する短文を発表しており、読んでいたのは確実に確証と言える。丸谷オ一の要約によれば、「トリストラム・シャンディ」は破天荒な奇書で、たとえば主人公はトリストラム・シャンディと言うが、話が脱線ばかりして、全9巻ある物語の第3巻でようやく主人公が生まれるというあきれた展開なのだ、第6巻ぐらいでもまだ主人公は子供である。この小説は、世にある小説へのパロディーであり、出鱈目の博覧会の様なものであり、作品の悪ふざけの極致の様なものだそうである。

そしてああ言う風に気の向くままにユーモア心とふざけ心を持って書いていけば面白いものが出来るかも知れないと漱石が発想し「吾輩は猫である」を書き進んだのだろうと「丸谷オ一」は想像している。

私はあの明治と言う時代において「猫」を主人公に小説を書こうなど唯一「漱石」のみが発想し実行に移した意義は大変なもので、私は漱石に以下の言葉を与えたい、「あっぱれ漱石」と。

そして動物を主人公にした小説は「吾輩は猫である」のみで二番煎じの小説は生まれていない、又今後も生まれることはないだろう。

「漱石」が得意だったのは英語だけではない。漱石は中学校の頃は漢文の才に秀でており、将来英語の道へ進むのか、漢文の方にしようかと大いに悩んだ様である。とにもかくにも「漱石」と言う人物は神経質な割には多趣味で「落語」も好きだし、江戸滑稽文学や狂歌も愛読していて、大田南畝のファンだった。

江戸っ子で、早口の啖呵なども自在にしゃべれた。そう言う総合力から漱石の作品が生まれたと考えるべきであろう、当然あの論理性のある文章は英文学の大家としてのなせる技である。独創性豊かな「吾輩は猫である」は日本文学史上類を見ない異色中の異色の作品と言える。

さて漱石は猫を語り手にすることによって、吾輩は家の中はもちろん、近隣の家々を見回

り、他者の眼を気にすることなく、自由自在に謀報活動を行い、この情報をもとに、漱石の持つイギリス仕込みのアイロニー、ジョーク、ユーモア、更には江戸っ子漱石の持つ洒脱さ、おちゃらかし等を加味したしゃべりは、たくみに内務省の検閲を逃れて漱石が日頃溜まりに溜まった反権力・反金権力、反不条理への主張を吾輩に一人称で語らせた。猫である吾輩の最も秀逸な語りは日露戦争勝利の直後の官民あげてのぬか喜びをたしなめ、少しは冷静になればと苦言を呈している。それは以下である。

苦沙弥先生いよいよ手製の名文を読み始める。

「大和魂！と叫んで日本人が肺病やみの様な咳をした」

「起こし得て突兀ですね。」と寒月君がほめる。

「大和魂！と新聞屋が言う。大和魂！と掏摸が言う。大和魂が一躍して海を渡った。英国で大和魂の演説をする。独逸で大和魂の芝居をする」

「成程こりゃ天然居士以上の作だ」と今度は迷亭先生が反り返って見せる。

「東郷大将が大和魂を有って居る。肴屋の銀さんも大和魂を有って居る。詐欺師、山師、人殺しも大和魂を有って居る。」

「先生そこへ寒月も有って居るとつけて下さい」

「大和魂はどんなものかと聞いたら、大和魂さと答えて行き過ぎた。五・六間いってからエヘンと言う声が聞こえた」

「その一句は大出来だ。君は中々文才があるね。それから次の句は」

「三角なものが大和魂か、四角なものが大和魂か。大和魂は名前の示す如く魂である。魂であるから常にふらふらして居る」

「先生大分面白い御座いますが、ちと大和魂が多すぎはしませんか」と東風君が注意する。

「賛成」と言ったのは無論迷亭である。

「誰も口にせぬ者はないが、誰も見たものはない。誰も聞いた事はあるが、誰も遇った者がいない。大和魂はそれ天狗の類か」

漱石作（「吾輩は猫である」の6章より引用）

いやはや当時の列強、大国ロシアとの戦争で相手の国内事情もあり、やっとならぶ日本の勝利を神国日本は大勝利したと官民あげて沸く中、日本でこの勝利を冷静な眼で見ていたのは漱石と今後ロシアとのきびしい賠償交渉（講和）にのぞむ外務大臣 小村寿太郎の二人だけだったろう。

漱石は、日本が日清・日露の二大戦争に勝って増々全体主義、軍国主義国家となろうとも、これに組する気持ちは全くなく、もし今日のように思想・心情の自由及び表現の自由が確保されていれば、「個人個人はもっと自由に生きろ」そして「軍人は出しやばるな！！自由人こそが望ましい国家を建設出来るのだ」と漱石をして言わしめたと考えている。

「日露戦争の勝利」と「大和魂」をまったく小バカにした内容によくぞ内務省の検閲に抵触しなかったのは、やはり漱石一流のギャグで、猫の話した内容に人間がいちいち文句を言うまいとの読みがあったと言わざるをえない（当時としては国賊ものの言動だった）。漱石は本小説の中で権力批判、権威批判、更には金権批判を上手にかかわすためオブラートに包む様にさしさわりなく吾輩に言わせている。

小学生の頃ゲラゲラ笑って読んだ様な記憶があったが、本稿の為再度しっかり読むと、全然違う漱石であり、読者に対する確固としたメッセージがあることに気付き、漱石の強い思いに圧倒させられた。

漱石は本小説を書き初めた頃は精神病理学的にはうつ症状と時々生じる胃痛もあり、すっかりしない状態だったが、書き進む内に次第にうつ症状も胃痛も改善され、日一日とうなぎ登りに良くなり、ここ数年味わったことのない、快適な晴れ晴れとした気持ちを持つに至った。

執筆活動が自分自身に健康と十分な対価をもたらしてくれる、まさに一石二鳥に喜び「ポーンと膝をたたいて、オイラ学校はやめた！！」

そして小説一本で行こうと決心したのであった

チェルノブイリ事故から3年半後の1989年にソ連政府は、事故対策や今後の防護対策について評価してほしいとIAEAに依頼し、IAEAやWHO（世界保健機関）は調査団を派遣して、少数の被災地を短期間まわり、市民や当局者との対話を行い、ソ連当局から提供された資料をもとに、1991年に報告会議を開催して、報告書（全750ページ）を公表しています。その結論は「放射線と直接に関係がある障害はみられなかった。事故に関連する不安が高レベルで継続し、心配やストレスといった形で多大な負の心理的影響を及ぼした」とし、現地（ベラルーシやウクライナ）の科学者たちが汚染地域の発症率の増加を認めているのに、「放射線によるとされた健康被害は、適切に実施された地域調査、およびプロジェクト（注：IAEAの国際チェルノブイリ・プロジェクト）による調査のいずれによっても、証拠づけられなかった」としています。このプロジェクトに参加したベラルーシやウクライナの専門家は、この結論に対し、以下の調査結果をもとに反対声明を出しています。

2009年のベラルーシ全土の就学児童のうち、58.1%が機能障害と慢性疾患リスクを抱え、13.8%が慢性疾患を発症しており、2007年のデータと比べると、健康な子どもの数は減少している。2002年から2010年のデータでは、先天性心臓病の率が3倍以上に増加していること、先天性心臓奇形の頻度も上昇し続けていること、悪性腫瘍だけでなく、眼疾患、循環器系疾患等々、25年後の今、子どもたちに何が起きているかを詳細に報告されています。

WHOはIAEAの下部機関であるため取り決めによりIAEAの同意がないと自由に原発被害に関する研究を公表出来ない仕組みになっています。IAEAにとって都合の悪い沢山の研究や事実が埋もれて発表出来ない状態に置かれていると思われれます。

どんな国家も大局的？な観点から嘘をつきます。国民がパニックにならない為、政権維持の為、なす術がなく事実を隠し続けるため、などなどです。今の日本政府はどれでしょうか？

新年早々小泉元首相等が原発を廃炉にするための法案提出の動きが出ています。多くの野党も同調しています。国民の半数以上が望んでいる原発廃炉にすこしだけ明るい兆しが見えてきたように感じます。より安全な自然エネルギーを大幅に増やしていければ良いですね。

マハトマ・ガンジーの次の言葉を「あなたのすることのほとんどは無意味だが、やり続けなければならない。世界を変えるのではなく、世界によって自分が変えられないようにするために」

ことがみなさまにとって良い年でありますように。



一時かなりの積雪も消えて山茶花の花びらが残雪に

ロータリーの友 2019 8①入選作
丹精に君が育てし新米の
ほっこり艶めく夕餉の卓に
石川・金沢百万石 石丸 恭子



またもや寒波襲来
1/23～

クラブ例会予定

- 1/18 浅見洋様：西田幾多郎
哲学館長
- 1/25 団子石祐二様：
ホテル日航ソムリエ
【素囃子練習会】
- 2/1 大平政樹様；大平胃腸科外科
クリニック院長
- 2/8 20周年に関する全体会議
【理事役員会】

2017～18 役員・理事・委員会

(役員) 会長：上杉輝子 エレクト：武藤清秀 副会長：藤間勘菊 副会長：北山吉明 幹事：大路孝之
副幹事：井上正雄 会計：西村邦雄 SAA会場監督：表靖子 直前会長：若狭豊

(理事) クラブ管理運営委員長井口千夏 奉仕プロジェクト委員長井上正雄 会員組織委員長 魏賢任
広報委員長矢来正和 20周年実行委員長宮永満祐美 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生
理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

(監査) 後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：井口千夏 副：東海林也令子

親睦：◎井上正雄 大沼俊昭 北山吉明 衣川昭浩 木下眞知子 相良光貞 柴田未来 助田忠弘 竹田敬一郎 道端勝太
武藤清秀 村上咏実子 森眞一郎 山崎正美 **例会**：(プログラム/出席) ◎東海林也令子 井口千夏 上田喜之
衣川昭浩 若狭豊 **SAA** ◎表靖子 上田喜之 衣川昭浩 木下眞知子 布施美枝子 村上咏実子

ニコニコ ◎布施美枝子 小浦勇一 村上咏実子 矢来正和 **友好・クラブ細則** ・細則 CLP 検討 ◎江守 巧
炭谷亮一 後出博敏

・富山西 RC との交流◎岩倉舟伊智 谷伊津子 藤間勘菊 水野陽子 ・金沢北 RC との交流 ◎藤間勘菊
杵屋喜三以満 金沂秀 ・その他友好クラブ ◎石丸幹夫 魏 賢任 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

直前委員長：東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：井上 正雄 副：衣川 昭浩

職業奉仕 ◎村田祐一 永原源八郎 水野陽子 宮永満祐美 **社会奉仕** (新世代・青少年含む) ◎永原源八郎
浦田哲郎 杵屋喜三以満 辰巳クミ 谷伊津子 野村礼子 水野陽子 **国際奉仕** ・世界社会奉仕(R財団)◎炭谷亮一

井上正雄 岩倉舟伊智 金 沂秀 柴田未来 西村邦雄 ・書損じはがきキャンペーン◎江守道子 大沼俊昭 相良光貞
竹田敬一郎 野城勲 後出博敏 山崎正美 ・米山奨学会◎藤間勘菊 表靖子 土田初子

青少年奉仕 (国際青少年交換 日韓など) ◎井上正雄 江守巧 魏賢任 金沂秀 道端勝太 宮永満祐美 吉田昭生

*直前委員長:川きみよ

会員組織委員長：魏 賢任 副：金 沂秀 **会員増強**：◎金沂秀 井口千夏 表靖子 北山吉明
高田重男 道端勝太 **修練** (リエンション) ◎北山吉明 石丸幹夫 魏 賢任 西村邦雄 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

吉田昭生 若狭豊 **直前委員長** 金沂秀

広報委員会委員長：矢来正和 副：上田喜之

広報:◎上田喜之 助田忠弘 西村邦雄 **ロータリー情報**：◎ 矢来正和 表靖子 土田初子

会報・ホームページ：◎石丸幹夫 上田喜之 江守道子 野城勲 野村礼子 **直前委員長** 矢来正和

【20周年実行委員会】 会長 上杉輝子 **実行委員長** (理事) 宮永満祐美

顧問(相談役) 炭谷亮一 石丸幹夫 岩倉舟伊智 北山吉明 **会計** 西村邦雄 **委員** 金 沂秀 村田祐一
藤間勘菊 魏 賢任 井口千夏 東海林也令子 布施美枝子 井上正雄 上田喜之 衣川昭浩

事務局長 大路孝之

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間
京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金 藤間 宮永

(地区委員) ①地区研修リーダー 諮問委員会委員 国際奉仕部門カウンセラー 炭谷 亮一②会員拡大増強委員会委員 魏賢任

③R米山記念奨学会委員会委員 大路 孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp **ホームページ URL** http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00 休日 (土日祝日)

事務局員 西村有里 幹事 大路孝之